

シビックテックとPBL
ー市民が社会課題を考えるためにー

市民からみたシビックテックへの期待

流山市議会議員 近藤美保

子育て世帯（共働き）向けの施策を集中的に展開

子育て世代の30代夫婦を中心に人口を10%、1万6千人の増(H.17比)

母になるなら、流山市。



一步進んだ子育て環境で、ママたちが夢を実現しています。

都心に近く、自然が豊か。さらに駅前送迎保育ステーションや子供向け教育・体験プログラム付きのマンションなど、官民が力を合わせ多様な子育て支援を進めている流山市。充実した環境を背景に、ママが起業や夢に挑戦する新しいライフスタイルが広がっています。また学童保育と同じ場所で起業支援を行う複合施設など、彼女たちの挑戦を後押しする動きも生まれています。

働くママ達（市民）にご協力いただいたPR広告



送迎ステーション



教育

出展) <http://www.nagareyama-city.jp/>



近藤美保(こんどう みほ)

7歳と5歳の2児の母。

会社時代はITエンジニア（大手企業のR & D仕事）を経て経営企画部で人財戦略、新規事業企画に従事。育児休業をきっかけに地域には様々な課題があることを知り活動（フィールドは、Code for NAGAREYAMA、マンション管理組合、女性活躍支援 等）。

平成26年、地域の課題に本腰をいれて取り組むため独立。

H27年、主に育児中の親の応援を受け、流山市議会議員に立候補、当選（無所属）

Facebook : miho.kondoh

Twitter : lovehona



シビック・テックへの期待

テクノロジーに対して全く違うイメージを
持っている、リテラシーも違う



近藤は育児休業中に地域のボランティアを行った。
バリバリのエンジニア（一部勘違い）だったので、
色々な地域の課題が解決できると思っていた。

しかし、求められたのは、メールよりFAXでのコミュニケーション、横文字厳禁、
最先端の技術より、枯れた技術＋少しのアナログ的介助だった。

シビックテックへの期待は正直言って解が無い。
活動の中でテクノロジーで解がありそうなことを紹介



母親



父親



子ども達



若者



シニア

子育て中の母親

出産前の想像と比較すると

「大変さは3倍、でも、楽しさは無限大」

大
変

泣いたり・しがみついたり



仕事では努力すれば何とか乗り切ってきた近藤。
出産と同時に流山市に転入してきた私は土地感も頼れる
友人もいなかった。
慣れない育児、抱っこしてゆらゆらしないと泣き叫ぶ赤ちゃんを前に、騒音が気になり、休憩場所が分からない等、
様々な理由で玄関の外に1歩出ることが出来なかった。

感動

ママ（パパ）が大好き



疲れると決まって膝まくら癒されまくり★



寝ているパパに一生懸命毛布をかけようとする次女1歳6か月
まだ歩くこともままならないのに、
這って毛布を取ってくる、
そして一生懸命毛布をかけるさまに
感動

感動

一番の理解者



仕事が大変だろうと、意匠作成を手伝ってくれる長女



政治家18番のガッツポーズ(ポスターの私)を真似して毎日応援してくれる娘たち

一般の方にとって駅に立つ政治家は無視対象？
でも、娘たちにとってはお姫様



1年間で、100枚以上の絵のラブレターを貰った

豊かな経験



子どもの絵が素晴らしいことから、アートワークショップを企画。
子どもを通じて様々な新しい経験が出来る。

子育ては大変。
でも楽しさや可能性は無限大。
ということをもっと社会が知ってほしい。

子どもを産んだ人しか知る機会が無いのでは、
いつまでたっても課題山積の
子どもの問題は改善しない。

でも、子育てだけじゃない。
自分と関係ない世界は見えにくくなっている。
ミニマムな統治機能を持つ自治体なのに、
複雑・多様化して互いの顔が見えにくくなっている

母親

シングルマザー

- 近藤の元には困難を抱えた方から連絡が沢山来る
 - 思いを吐露したい
 - 知ってほしい
 - 助けてほしい



行政は財政難で潤沢な人員配置が出来ない事情もある。こういった方々を救うため、テクノロジーはどのようなアプローチが出来るのか

私は先月から仕事が忙しく、家事育児と、パンクしそうになっています...

職場の人手が足りなくなったので独り立ちを早くするために勉強量が増えていき、仕事ではミスが許されず完璧を求められ、いっぱい입니다...

近藤さんの方が休みもなく大変なお仕事なのに情けないですが、自分の許容範囲を超えていて、子供にイライラすることが増えました。

このままでは...と思って登録していたファミリーサポートに連絡して、サポーターさんを探していたところでした。

何だか近藤さんにメールしたくなってしまいました。
お忙しいでしょうから、返信はいつでも大丈夫です。
いつも申し訳ありません。

転入してきて一年 育児休業中の母親

- つながりたい
 - 大人になってからの友達づくりは困難
- 自分も地域活動で貢献したが、関わり方が分からない
 - 地域情報の公開方法に課題がありそう？



急きょ開催したプチママ会。
連絡先を交換した、とても微笑ましくて、
私も嬉しくなってしまった瞬間

復職前の不安

不安や思いを語る、それぞれの働くと育児



相互で共感し、承認され、笑顔になる



ヒカルエ（働きたい女性のミカタ）
育休後カフェより

リアルに顔を合わせる以上に
テクノロジーで提供できるものは何だろう

母親の事例から テクノロジーに期待にすること

- 20年つながりたい・助けてほしい・貢献したい（困っている人ほど、こういった気持ちがある）
- 実情を知ってほしい・社会から理解を得たい
 - プライベートでデリケートな話を公にどのように公開する？
⇒(良例)サイボウズのサイト
(Movie+twitter,facebookコメント, 3.1万いいね)
- その他
 - 育児を楽しみたい
 - (良例)地域のイベント情報共有サイト、簡易なツール
 - もっと便利に
 - (良例)リクルート Kidsly（保育に関わる様々な業務を支援しながら、保育園と保護者のコミュニケーションを深めるサービス）
 - 子育てを学びたい
 - 子育てノウハウ本ではない、実践知が必要。核家族化、価値観多様な中で学ぶ機会が圧倒的に不足

子ども

あそび場が無い・居場所がない

公園は遊び場ではなかったのか



自転車禁止
(幼児用OK)



犬のフンは持ち帰ろう
(飼い主が責任を持ちましょう)



ペットの利用は園路のみ可
(放し飼い禁止)



ポイ捨て禁止
(ゴミは各自で持ち帰りましょう)



木花を大切に



喫煙は決められた場所で
(歩きタバコ禁止)



スケボー類禁止



ロケット花火禁止



壊したり
落書きしない



ゴルフ等の
危険行為禁止



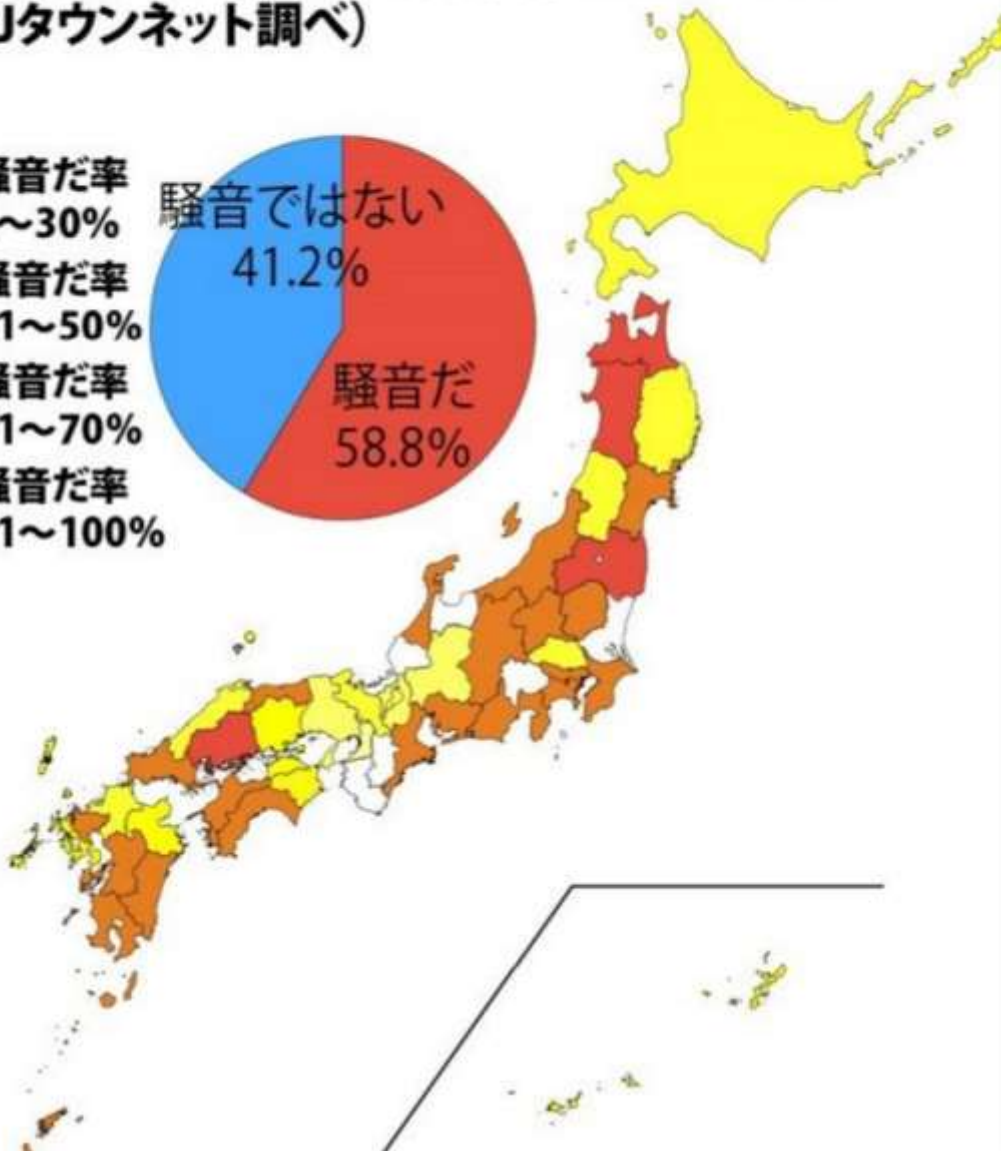
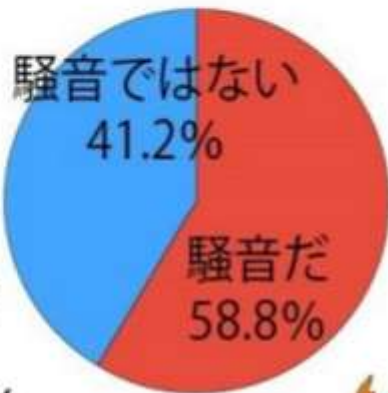
夜は静かに



その他の
迷惑行為禁止

【都道府県別】 子供の声は「騒音」と思うか？ (Jタウンネット調べ)

- 騒音だ率
0～30%
- 騒音だ率
31～50%
- 騒音だ率
51～70%
- 騒音だ率
71～100%



社会の理解不足からくる

社会とつながれない
子育て世代と子ども

どこで遊べばいいの？



公園を目の前にして、公園では遊ばない。彼らの世界はDSの中にある。
この状況が悪いと決めつけることは出来ないが、
子どもの育ちにどう寄り添ったらよいのか、悩んでいる親は沢山いる

子ども達が置かれている状況からテクノロジーに期待すること

- 子どもの遊び場・居場所・関わる大人の不足を補うなにか
- 放課後の過ごし方が多様化したこと等により、子ども同士で自由に遊ぶ機会が減っている、これを解決する何か
- 注意点
 - 技術の進歩のスピードに地域は翻弄されることも
 - 家庭間でのポリシーの違い（ゲームを持たせるか否か等）が子どもの社会にも影響
 - アナログな介助が加わらないとうまく行かないことも

1つの仮説：親子プログラミング

- 完全バーチャルではなく
＋アナログ
 - アナログ要素
 - 実際に質量のあるものが動く
 - 大人が関わる
- 親も関われる・学べる構成で
- 消費者から生産者への教育



本当に楽しかった。
開催してくれてありがとうございますと
直接伝えにきてくれた小学生。

パパ (ママ)

事例① CoderDojo Nagareyama を見学して



地域ボランティアによる無償のプログラミング教室
ITエンジニアとして第一線で働いている人たちが、
子どもの教育に真剣に向き合う



CoderDojo NAGAREYAMAメンターボランティア なぜ関わるのかの例？ ※個別ヒアリングにより

- 子どもの育ちに関わりたい。
- 子どもにカッコいい所を見せたい。
家庭では「パパ、家では何にもしないね・・・」と言われる。
- 子どもに働いている姿を見せたい。
 - エンジニアという仕事を説明するのは難しい、
一緒にプログラミングをすれば分かってくれるかもしれないと考えた。

事例② SNS いじめを考え、共有するプロジェクト



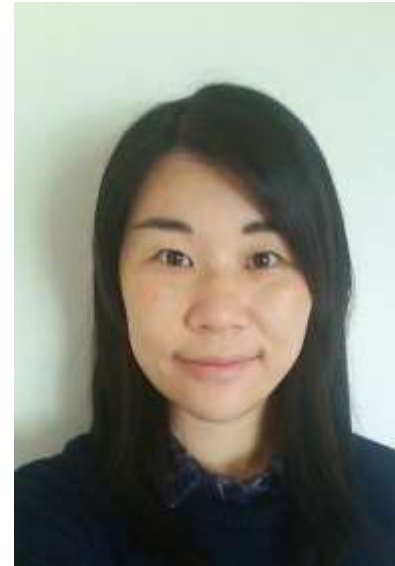
近藤が「SNS」と「いじめ」この2つのキーワードでfacebookに文書投稿した時、親としてリスクが分からない、関わり方が分からないという反響が大きかった。

ITコンサル会社のパパ友に相談すると、リーダーを引き受けてくださり、保護者で、調査研究、共有を行うことに。

SNS いじめを考え、共有するプロジェクト なぜ関わるのか？ ※個別ヒアリングにより

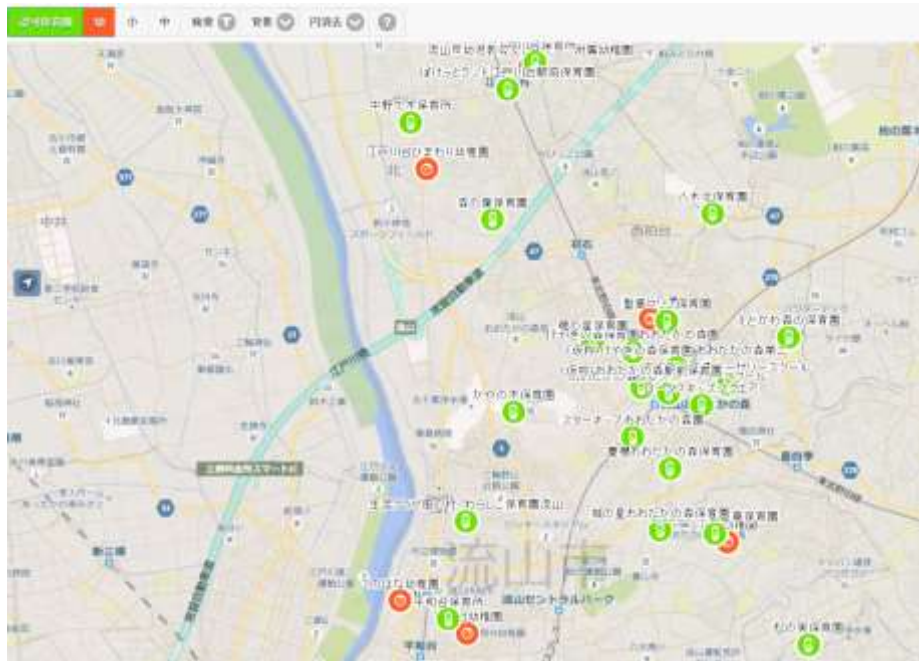


ITコンサル職のパパ
(テクノロジー生産者)
最先端の技術は使い方によって鋭利な刃物にもなる。
最前線でそれらを使う子ども達や親への影響もきちんと見ておきたい。
善良な会社人としてのバランスを保ちたい。



2児のママ（現場最前線）
10歳の長男がそろそろ思春期の入り口にさしかかり、これからの子どもとの関わりを考えているにあたり、SNSやいじめの構造についてもっと深く知りたい。

事例③ 流山市保育マップ



- 作ったのは流山のママ。
何故つくったのか？
 - 自分も困ったから、助けたい

(近藤の利用実績：相談で非常に有用)
転入してきたばかりで、土地感の無い親御さんに保育園を紹介するツールとしてとても便利。
⇒市民にはＩＴリテラシーに差があるので、
保育コンシェルジュなど育児支援者への展開を考えてみては？

なぜ関わるのか ～その他のご意見～

- 充実感を得たい
 - エンジニアは社会課題に直接的に関われる仕事だと思ったが、違った。現場が見えない、社会に貢献している気がしない。

パパ（ママ）は正義のミカタ



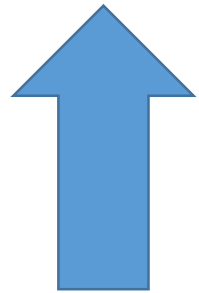
地域でエンジニアはヒーローになれる。
ちょっとの貢献で沢山感謝される。
キーは、アナログ的会助との組み合わせ。

シニア

目の前の公園の草刈りは誰の仕事か



市役所

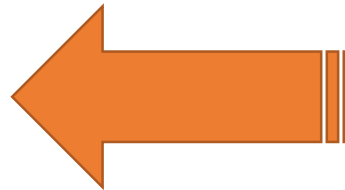


苦情
(意見箱)



お願い

マンション
(子育て世代)



不信感

近隣自治会
(シニア)

近隣自治会の方が「お気持ち」で清掃されていることを知らず、不信感だけが募り、関係が悪化。

最初から知っていれば、こんなことはなかったのに・・・
⇒地域の自治情報を可視化することは出来ないのか

シニア（公園清掃のボランティア）

- 期待すること
 - 生きがいを感じたい
 - 知ってほしい
 - 関わってほしい
 - ※自らがポイ捨てしないでもよい
- 認識の食い違い
 - 若い人：お金をもらってやっているサービス
 - ※ちゃんとやるのが仕事でしょ！
 - シニア：助け合い前提の有償ボランティア
 - 良いことをして気持ちがいいと思いたい



1つの仮説： 顔の見える関係なら仲良しになれる

子ども達の料理教室を兼ねて、
地域のボランティアの方々に健康にいいお料理のおもてなし



多世代相互の理解、尊敬、感謝の気持ちがうまれるようなもの
もっとテクノロジーで加速できないか